



■中学サッカー・男子スクール/女子スクール/星空スポーツ広場のバドミントン■

どうなる？ 中高生のスポーツ環境

■部活動指導に国家資格？！

近年、中学校や高校の部活動をめぐる諸問題に注目が集まっています。

もっとも注目されたのは、顧問や監督による暴力問題でしたが、最近では、教員の方々の過酷な労働実態も浮き彫りにされ、社会問題化され始めました。

テレビや新聞にとりあげられるのは、ごく一部の特殊な例で、多くの部活動は問題ない。。。と考えられる状態ではなく、なってきたようです。

参加している子どもたちにとっても、教えている先生方にとってもデメリットが少なくないのでは、見直しをしないといけない時期になったのだと思います。

そのような中、「スポーツ系部活動の指導に国家資格を検討」というニュースが飛び込んできました

「自民党スポーツ立国調査会は、学校の部活動における外部指導員の登用を進め、質も向上させるために、スポーツ指導者の国家資格を設ける方向で検討を始めた。小委員会を設置。来秋に議員立法の提出を目指す。」というものです。

専門的な知識を持つ外部指導者の参加により、教職員の負担を減らし、質を向上することで、問題の解決を図ろうということですが・・・

■部活動の指導に必要な資格とは？

外部指導者に求める資格がどのようなものなのかは、まだ議論が進んでいないのかもしれませんが、これを聞いて

- 現在の体育協会やサッカー協会などが用意している指導者資格とは異なるのか？
- そもそも資格がなければ部活動の指導ができないならば、今の現状は？

- 学校で教えるのには資格がいるけど、外で教えているのには資格が要らないということか？

有資格者がいない地域はどうしたらいい？
など、多くの疑問が浮かんできます。

■視点はどこにあるのか？

報道では、

- 「スポーツ専門指導員(仮称)」を国家資格として設け、外部指導員として登用し、部活動を活性化させる狙い

「地域スポーツと学校スポーツを一体化していく必要がある」と指摘。従来の学校単位にとらわれず、総合型地域スポーツクラブを活動拠点として、地域のスポーツ振興も進めたい

とあります。

これらの情報を見ても、子どものスポーツ環境をどのようにすべきかという検討が十分にされているのかが、とても気になります。

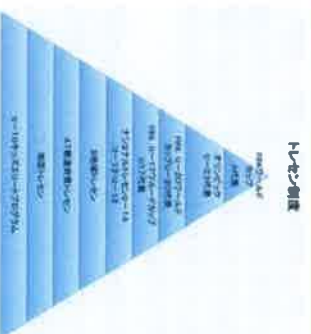
「指導力をあげて部活動を活性化する」というのは、何を意味するのでしょうか。強くしたい？ 多くの生徒が参加できるようにしたい？ 日数を増やしたい？ 種目を増やしたい？ いろいろと考えられます。

また、浦スポが一昨年に行った市内の中学生の実態アンケート調査からは、活動日は多い(週5～6日)ものの、施設が不足していて時間内には十分な練習ができないことなども挙げられており、多くの部活動が活性化することで、さらに課題が大きくなることも考えられます、

■多様な選択ができる環境を・・・

スポーツ界では、裾野は広く、頂は高くピラミッド構造を目指すと言われてきました。

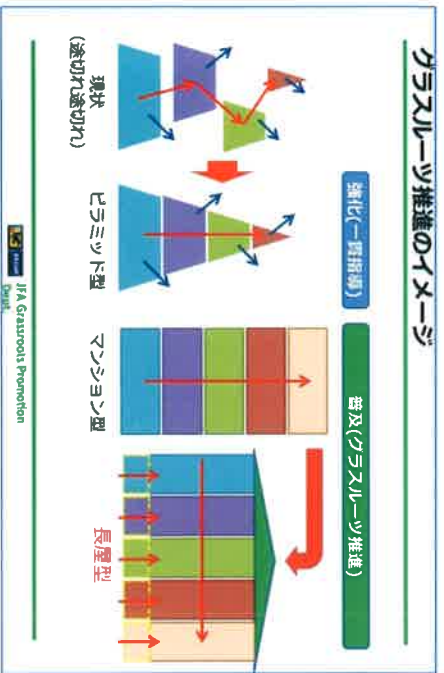
しかし、この構造では年齢を経るにしたがってプレイヤーが減少してしまいます。ま



た、各年代の活動が全てトツジに上り詰めることを目指しているような考えになっていました。

そこで、すべての年代で多様な志向の場があることが望ましいという考え方が提唱され始めました。

クラブスポーツ推進のイメージ



このようなスポーツ社会を実現することで、多くの人がそれぞれのスタイルにあわせたスポーツを選び、続けることができるようになると思います。

中学校の部活動は、どのような役割を果たそうとしているのか・・・喫緊の課題への対策を施しつつも、そういった議論を十分に行っていくことが必要だと考えます。

■浦スポも、まずは多様な場をつくっていきませう

浦スポは、これまでも多様なスポーツの楽しみ方ができる場を広げていくことに取り組んできました。特に、近年は、中学校部活動と補間的な関係をつくれないかと、中学生向けスクール、中学女子向けのスクール、ユースクラスでの活動受け入れなどを始めています。

星空スポーツ広場のサッカーやバドミントンにも、多くの中学生や高校生が参加しています。

もともと、技量も体力も年齢もバラバラでも、サッカーを生涯スポーツとして長く楽しみたいと集まったメンバーが展開してきたことが、このような考え方と取り組みにつながっているのだと思います。

スポーツの多様な楽しみ方をお互いに認め合い、続けられる地域づくりに取り組み、さらに広げられる2017年にしていきたいと思えます。

人生の楽しみはスポーツだけじゃない！！！！

■クラブハウスでは.....

クラブは社交場です。

クラブって、もともとは社交の場に集まったメンバーの中で、同じ趣味を持ったメンバーがそれぞれサッカーのチームをついたり、バスケットのチームをついたり、中には、チェスだったり、ダンスだったり、しかも、一人が一つじゃなくて自分がやりたいところに顔を出す。ただし、自分たちがやりたくて始めるのだから、自分たちで責任をもって場所や時間や予算を用意してやっていくことが基本だったのだと思います。

浦スポは、たまたまスポーツがきっかけでつながって集まってきたけど、それしかやらない、それしかやっちゃいけないわけではないのです。

せっかくみんなの会費で維持しているクラブの事務所

をもっと活用して、人生を豊かにしよう！

ってなわけで、先日は、リースづくりの教室が開催されました！

テニス部門の方が多かったのですが、みなさん楽しそうに、素敵なリースをつくられています！

みなさんも、クラブ事務所の活用を考えて、相談してみてください！



教室・イベントの案内

短期テニス教室参加者募集

初心者からシニア世代までどなたでも参加できます。是非ご参加ください。

開催日：2月2、9、16日(木曜日) 予備日23日
※3回シリーズになります。

時間：13時15分～15時00分
場所：2・16日 市営浦和コート
9日 駒場本体育館

定員：12名(先着順)
参加費：3,000円(税込)

申し込み：事務局 Tel048-887-7140 まで
(平日 10時～17時) お電話でお願いします。

持ち物：動きやすい服装
ラケット(お持ちでない方は申込時に申し出ください)

主に大原の障がい者交流センターで活動されているCPサッカーASユナイテッドさんからのご案内です！

少し先の日程ですが、浦スポからも参加者を募りたいと思います。

また、これより先に1月15日、ドイツで育成年代指導者として活躍する中野吉之伴氏が交流センターに来訪し、ASユナイテッドさんの練習に参加されるそうで、ここにもお誘いをいただいています。参加希望される方は、クラブ事務所にご連絡ください。

ポーターリーサッカー2017

日時：3月19日

主催：(社)埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会

主旨：ASユナイテッドとFCアウボラーダ(アンゾナイサッカークラブ)とのクラブで2014年から始まったポーターリーサッカーイベント。

プログラム予定：
10時～ 参加型セミナー (障がい者サッカークラブをもっと身近に、ほか)

13～17時

- ・小澤英明さん (OK 鹿島、東京、新潟で活躍) によるクリニック
- ・みんなで混ざり合っのミニゲーム。